

選考方法 (2019年10月入学)

大学院 人間文化創成科学研究科 (博士前期課程)

(注意) すべての専攻・コースについて、受入れを希望する教員と必ず事前に連絡を取り、受入内諾を得ること。

専攻	コース	選考方法	備 考
比較社会文化学専攻	日本語日本文学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに、受入れを希望する教員に「研究生希望」という標題の電子メールで連絡し、相談し、内諾を得ること。
	アジア言語文化学コース	書類審査 面接	遅くとも出願しめきりの4週間前まで、受入れを希望する教員に連絡をとること。
	英語圏・仏語圏言語文化学コース	書類審査 面接	出願期限の2週間前までに履歴書、研究計画書(形式自由)を英文研究室あて郵送すること。
	日本語教育コース	書類審査 面接	予め(遅くとも出願しめきりの4週間前までに)、受入れを希望する教員に連絡をとること。
	思想文化学コース	書類審査 面接	面接時に、研究計画書を持参すること。
	歴史文化学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。 なお、相談時には、日本語で書いた履歴書と研究計画書を提示(送付)すること。
	生活文化学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受入の内諾を得ること。相談時には、(1)日本語で書いた履歴書と研究計画書、(2)修士論文ないし修士論文に代わる論文(本文が日本語以外の言語で書かれている場合は、日本語の要旨を添付すること)、(3)日本語で書かれた論文ないし授業のレポート、及び(4)IELTSまたはTOEFLの成績のスコア等を求める。
	舞踊・表現行動学コース	書類審査 面接	
	音楽表現学コース	書類審査 面接 実技等	専攻分野により異なる。
人間発達科学専攻	教育学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに、受入れを希望する教員とコンタクトをとること。
	心理学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談し、受け入れ内諾を得ること。 なお、連絡を取るときには、日本語で書いた履歴書と研究計画書を必ず受入れ希望教員に提出すること(提出は郵送あるいは電子メールの添付ファイルのいずれでも可)。
	発達臨床心理学コース	書類審査 面接	
	応用社会学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに、受入れを希望する教員と連絡をとり、研究計画書を持参すること。

	保育・児童学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに受入れを希望する教員に連絡を取って相談すること。なお、連絡を取るときには、日本語で書いた履歴書と研究計画および出願の意図、経済的事情（生活費、授業料をどこから捻出するのか等）等を記した文書を郵便もしくは電子メールの添付にて受入れ希望教員へ提出すること。
ジェンダー社会科学専攻	生活政策学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに、以下の3点の書類を郵送すること。 宛先：〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学生生活科学部人間生活学科 生活社会科学講座助手室 行 ①略歴②研究計画書③修士論文ないし修士論文に代わる論文の概要。①、②、③の3点ともいずれも日本語で書くこと。 研究計画書に受け入れ希望の教員名を明記すること。
	地理環境学コース	書類審査 面接	予め受入れを希望する教員と連絡をとり、研究計画書を持参すること。
	開発・ジェンダー論コース	書類審査 面接	予め受入れを希望する教員と連絡をとり、研究計画書を持参すること。
ライフサイエンス専攻	生命科学コース	書類審査 面接	受入れを希望する教員と事前に連絡を取り、必ず受入内諾を得ること。
	人間・環境科学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに電話、手紙、電子メールなどで連絡をし、かつ、出来る限り受入れを希望する教員を訪ね面談すること。
	食品栄養科学コース	書類審査	出願開始日の2週間前までに電話、手紙、電子メールなどで連絡をし、かつ、出来る限り受入れを希望する教員を訪ね面談すること。面接を実施することもある。
	遺伝カウンセリングコース	書類審査 面接	
理学専攻	数学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに手紙または電子メールで受入れを希望する教員に連絡をし、相談すること。
	物理学コース	書類審査	
	化学・生物化学コース	書類審査 面接	受入れを希望する教員と研究内容・研究計画について十分相談の上、応募すること。
	情報科学コース	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに手紙または電子メールで受入れを希望する教員に連絡をし、相談すること。
	生活工学共同専攻	書類審査 面接	出願開始日の2週間前までに電話、手紙、電子メールなどで連絡をし、かつ、出来る限り受入れを希望する教員を訪ね面談すること。